

令和4年度
(2022年度)

予算概要説明書

2022年3月
町田市

***** 目 次 *****

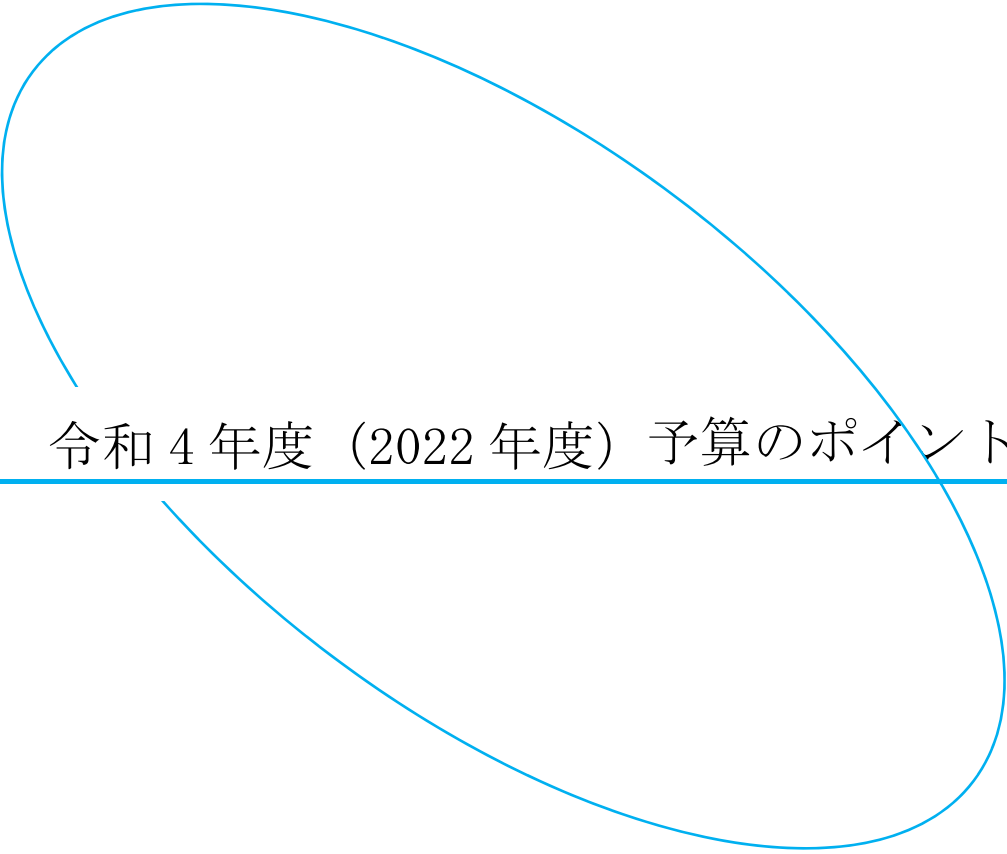
I 2022年度予算の概要

1 令和4年度（2022年度）予算のポイント	
まちだ未来づくりビジョン2040	8
（1）予算編成方針	8
（2）2022年度予算フレームの概要	9
2 歳入歳出予算の状況	
（1）予算規模	
・一般会計予算規模	12
・会計別予算構成表	12
・一般会計予算規模 伸び率	12
・特別会計予算規模	13
・会計別予算構成	13
（2）歳入予算	
・主な歳入予算	14
・一般会計歳入予算内訳表	14
・市税の状況	15
・（参考）市税の推移	15
（3）歳出予算	
・主な歳出予算	16
・一般会計歳出予算目的別内訳表	16
・一般会計歳出予算性質別内訳表	17
・性質別予算のトピックス	17
（4）積立金（基金）・市債	
・積立金（基金）の状況	18
・基金の年度末現在高の推移	18
・市債の状況	19
・市債（一般会計）の年度末現在高等の推移	19
・参考 地方消費税交付金（社会保障財源分）	19
3 予算における町田市5ヵ年計画 22-26	20
4 2022年度予算において重点的に取り組む事業	23
参考資料	
・予算の構成表及び内訳表	90

Ⅱ 部別予算概要説明書

「部別予算概要説明書」の見方	94
1 政策経営部	95
2 総務部	103
3 財務部	113
4 防災安全部	127
5 市民部	133
6 文化スポーツ振興部	147
7 地域福祉部	155
8 いきいき生活部	165
9 保健所	183
10 子ども生活部	191
11 経済観光部	205
12 環境資源部	215
13 道路部	225
14 都市づくり部	235
15 下水道部	247
16 会計課	259
17 議会事務局	263
18 選挙管理委員会事務局	267
19 監査事務局	271
20 農業委員会事務局	275
21 学校教育部	279
22 生涯学習部	293
23 事業別支出科目一覧	301
24 職員人件費の状況	398

I 2022年度予算の概要



1 令和4年度（2022年度）予算のポイント

《まちだ未来づくりビジョン2040》

「まちだ未来づくりビジョン2040」は、基本構想部分を担う「2040になりたい未来」と基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」で構成されます。また、ビジョンの実現に向けて、具体的な事業と取り組みを示す実行計画（5ヵ年計画）を策定します。

基本構想部分を担う「2040になりたい未来」は、2022年度から2039年度までの18年間、基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」は、2022年度から2031年度までの10年間と、2032年度から2039年度までの8年間とします。

① 2040になりたい未来

まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を「なりたいまちの姿」（都市像）、「行政経営の姿」（経営像）として掲げます。

② まちづくり基本目標

「2040になりたい未来」で掲げた、なりたいまちの姿を実現するための目標を政策・施策として体系的に示します。

③ 経営基本方針

「2040になりたい未来」で掲げた、行政経営の姿を実現するための方針を体系的に示し、「まちづくり基本目標」を支えます。



(1) 予算編成方針

◇ 2022年度の予算編成にあたっては

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の実行計画である「町田市5ヵ年計画 22-26」を前提とする予算と位置付け、次の点を基本に編成しました。

基本方針1

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市税収入が一定程度まで回復するには時間を要するものと見込まれることから、事務事業の見直しや、事業費の精査等を徹底することで、自律的な財政運営を確保する。

基本方針2

2022年度の予算編成において重点的に取り組む事業は、町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」のまちづくり基本目標に定めた9つの政策の実現を目指すため、「町田市5ヵ年計画 22-26」の重点事業プランに位置付けられる事業とする。

基本方針3

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の経営基本方針の改革項目のうち、予算編成においては「行政サービスのデジタル化」や、「持続可能な財政基盤づくり」、「市有財産の利活用」を特に推進する。

基本方針4

2022年度から2026年度までの「財政見通し」では、5年間で96億円の収支不足が見込まれ大変厳しい財政状況となっている。このような状況の中、「町田市5ヵ年計画 22-26」を着実に実施するため、経常事業費等の縮減及び歳入増へ向けた取り組みなどにより、収支不足の解消を図る。

(2) 2022 年度予算フレームの概要

○ 全会計歳出総額 2,878 億 9,589 万円 (△124 億 217 万円)

一般会計と特別会計とを合わせた総予算額は、2,878 億 9,589 万円で、対前年度比較で 124 億 217 万円 (4.1%) の減少となりました。

○ 一般会計歳出総額 1,573 億 6,519 万円 (△164 億 7,688 万円)

一般会計予算規模は、1,573 億 6,519 万円で、対前年度比較で 164 億 7,688 万円 (9.5%) の減少となりました。

○ 2022 年度の特徴

2022 年度当初予算は、2 月 20 日に市長選挙が行われたため、原則、政策的な事業は市民の負託のもとに選出された市長の政策判断に委ねることとし、骨格的予算として編成しました。

一方、現下の社会・経済状況に対応した施策や市民の生活安全対策等については、事業の停滞により市民生活に影響を及ぼすことのないよう、着実に実施する必要があります。2022 年度は、「まちだ未来づくりビジョン 2040」、その実行計画である「町田市 5 ヶ年計画 22-26」の初年度にあたり、目標達成に向けた取り組みを着実に推進するため、将来を担う子どもたちの視点に立ち、誰にとってもやさしい、未来に希望の持てる地域社会の実現に向けた予算を計上しています。

○ 税収 677 億 7,175 万円 (+41 億 5,218 万円)

- ・ 税制改正に伴う軽減措置等の終了などによる固定資産税の増 +19.0 億円
- ・ 2020 年中における所得減少の影響が限定的であったことによる
個人市民税の増 (骨格的予算による留保分を除く。) +11.7 億円

○ 事務事業見直し △3 億 9,898 万円

① 事務事業見直し

「事務事業見直しの基本的な考え方」に基づき、各部における事務事業の見直しを行うことで、事業費を削減するとともに、総業務時間を減少させ、時間外勤務手当を含む人件費の削減を行いました。

② 経常事業及び扶助費見直し

2022 年度市政運営の基本的な考え方に基づき、経常事業・扶助費事業を見直し、事業費の削減を行いました。

2 歳 入 歳 出 予 算 の 状 況

(1) 予算規模

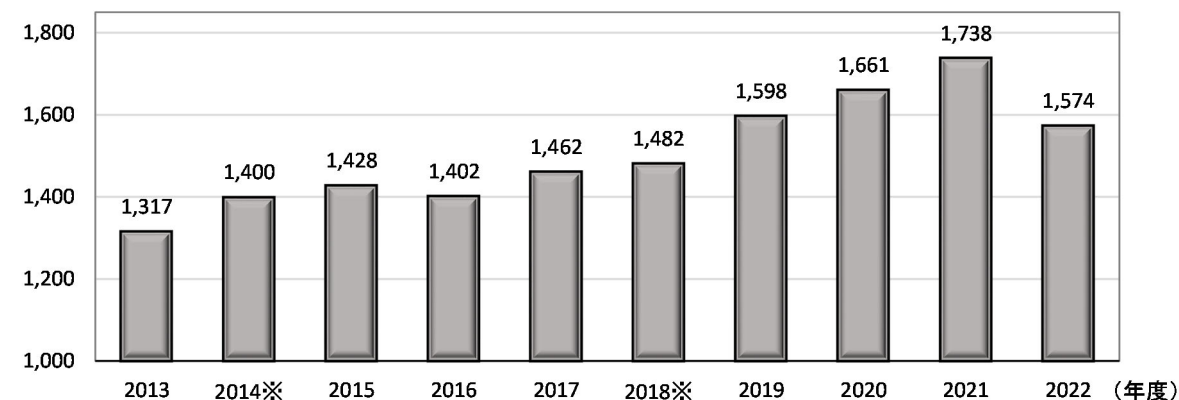
一般会計予算規模 1,573 億 6,519 万円（前年度比 △164 億 7,688 万円、△9.5%）
○ 一般会計の予算規模は、前年度に比べて 9.5%減の 1,573 億 6,519 万円となりました。
<歳入> ○ 市税は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であったことなどから、前年度に比べて 41 億 5,218 万円増の 677 億 7,175 万円となる一方で、市債や国庫支出金、地方特例交付金等がそれぞれ減少しています。 <歳出> ○ 循環型施設整備事業や小・中学校体育館空調設備設置事業などの大型投資的事業費が減少したことから前年度に比べて減額となる一方で、2022 年度は町田市 5 ヶ年計画 22-26 の初年度であり、重点事業に位置づけられた政策の実現を目指し、地域における子育て支援や ICT 教育の充実、鶴川駅周辺街づくりなど、町田市が市内外から選ばれ続けるまちとなるために必要な事業を着実に推進します。また、経営基本方針に基づき、デジタル技術の活用により、市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目指し、行政のデジタル化を推進します。

2022年度 会計別予算構成表

（単位：千円・%）

区 分	2022 年 度		2021 年 度		比 較	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	157,365,190	54.7	173,842,073	57.9	△ 16,476,883	△ 9.5
特 別 会 計	130,530,699	45.3	126,455,984	42.1	4,074,715	3.2
合 計	287,895,889	100.0	300,298,057	100.0	△ 12,402,168	△ 4.1

○ 一般会計予算規模 伸び率



年度	2013	2014※	2015	2016	2017	2018※	2019	2020	2021	2022
伸び率 (%)	△ 2.8%	6.3%	2.1%	△ 1.8%	4.2%	1.4%	7.8%	4.0%	4.7%	△ 9.5%

※2014年度及び2018年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

特別会計予算規模 1,305 億 3,070 万円（前年度比 +40 億 7,472 万円、+3.2%）

○ 特別会計の予算規模は、前年度に比べて 3.2%増の 1,305 億 3,070 万円で、前年度を上回りました。

○ 主な増減内容

〔国民健康保険事業会計〕

被保険者一人あたりの医療費の増などにより 16 億 4 千万円の増

〔介護保険事業会計〕

要支援・要介護認定者数の増などにより 11 億 2 千万円の増

〔後期高齢者医療事業会計〕

被保険者数や医療費の増などにより 7 億 9 千万円の増

〔鶴川駅南土地区画整理事業会計〕

土地区画整理事業委託料の増などにより 4 千万円の増

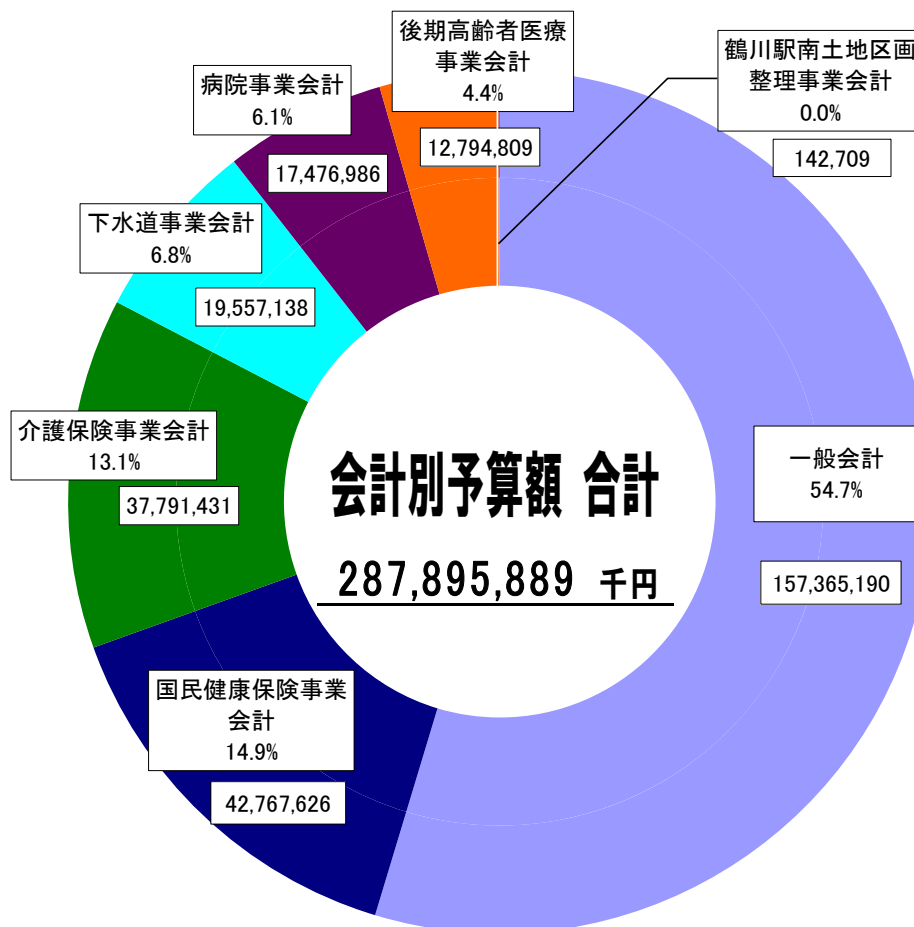
〔下水道事業会計〕

鶴見川クリーンセンター改良事業費の増などにより 8 億 6 千万円の増

〔病院事業会計〕

病院情報システム更新の備品購入費の減などにより 3 億 7 千万円の減

■ 2022 年度 会計別予算構成（単位：千円）



(2) 歳入予算

主な歳入予算	
○ 市税では、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であったことなどから、41億5千万円の増収を見込んでいます。	
<個人市民税> 2020年中における所得減少の影響が限定的であったことから、18億7千万円の増額を見込んでいますが、骨格的予算による留保分を除くため、11億7千万円（4.1%）の増となりました。 <固定資産税> 土地では、課税標準の据置措置の終了により、4千万円の増額を見込んでいます。家屋及び償却資産では、税制改正による新型コロナウイルス感染拡大に伴う軽減措置等の終了により、19億5千万円の増額を見込み、固定資産税全体で19億円（7.7%）の増となりました。	
○ 地方特例交付金では、固定資産税の軽減措置に伴う新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆減による19億3千万円の減額により、17億円の減額を見込んでいます。	
○ 国庫支出金では、生活保護事業費の増加に伴い生活保護負担金が6億1千万円の増額になる一方で、循環型施設整備事業費の減少に伴う循環型社会形成推進交付金の41億8千万円の減額などにより、18億2千万円の減額を見込んでいます。	
○ 市債では、循環型施設整備事業費の減少に伴う廃棄物処理施設事業債の84億2千万円の減額や、庁舎建設事業費借換事業債の皆減による33億8千万円の減額などにより、175億1千万円の減額を見込んでいます。	

2022年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位: 千円・%)

区 分	2022 年 度		2021 年 度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 市 税	67,771,747	43.1	63,619,570	36.6	4,152,177	6.5
2. 地 方 特 例 交 付 金	487,000	0.3	2,184,000	1.2	△ 1,697,000	△ 77.7
3. 地 方 交 付 税	1,753,000	1.1	1,729,000	1.0	24,000	1.4
4. 国 庫 支 出 金	32,326,888	20.5	34,144,045	19.6	△ 1,817,157	△ 5.3
5. 都 支 出 金	23,487,213	14.9	23,731,626	13.6	△ 244,413	△ 1.0
6. 市 債	6,098,000	3.9	23,612,000	13.6	△ 17,514,000	△ 74.2
7. そ の 他	25,441,342	16.2	24,821,832	14.4	619,510	2.5
歳 入 合 計	157,365,190	100.0	173,842,073	100	△ 16,476,883	△ 9.5

〔市税の状況〕

- ・税制改正に伴う軽減措置等の終了などによる固定資産税の増 19.0 億円
- ・2020 年中における所得減少の影響が限定的であったことによる個人市民税の増 18.7 億円
- ・骨格的予算による留保のため、個人市民税の減 △7.0 億円

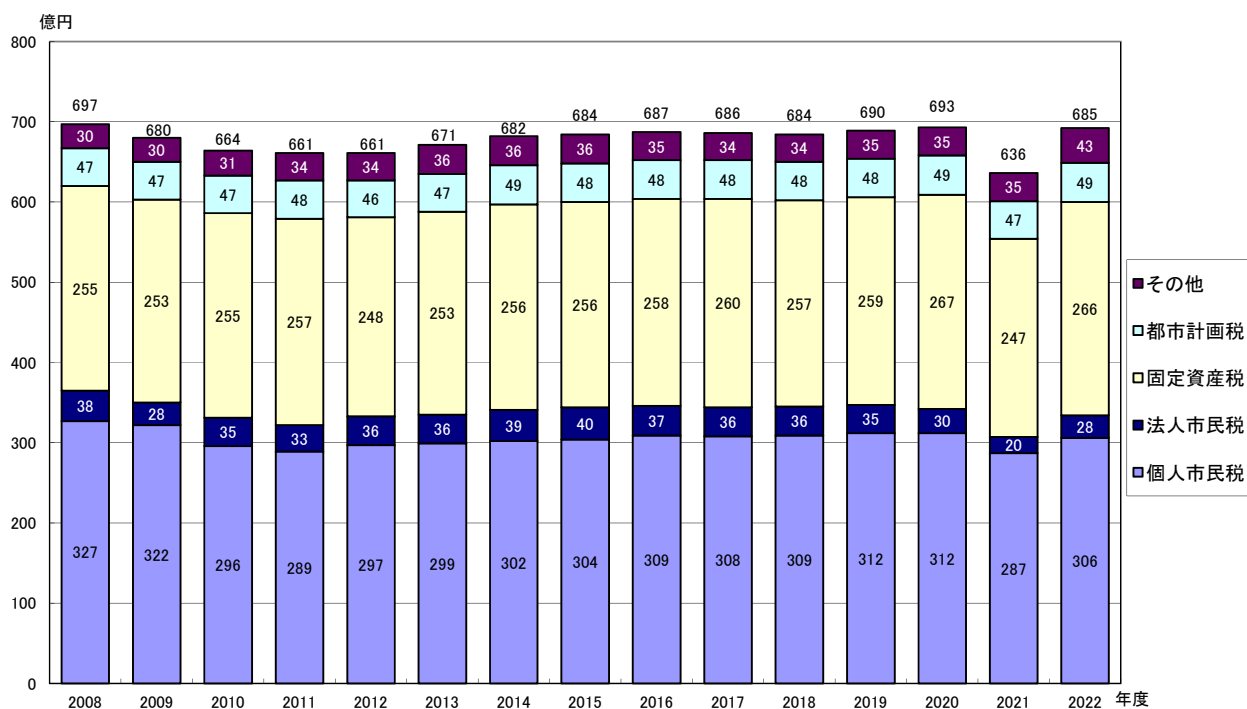
■市税予算の内訳

(単位:千円・%)

区 分	2022年度	2021年度	比 較	
			増減額	増減率
市民税	32,677,297	30,669,816	2,007,481	6.5
個人	29,850,938	28,678,188	1,172,750	4.1
法人	2,826,359	1,991,628	834,731	41.9
固定資産税	26,574,377	24,678,885	1,895,492	7.7
土地(現年課税)	11,632,574	11,588,954	43,620	0.4
家屋(現年課税)	11,070,303	10,135,350	934,953	9.2
償却資産(現年課税)	3,199,440	2,189,480	1,009,960	46.1
その他	672,060	765,101	△ 93,041	△ 12.2
軽自動車税	525,342	508,005	17,337	3.4
市たばこ税	2,274,647	2,179,492	95,155	4.4
事業所税	846,831	861,194	△ 14,363	△ 1.7
都市計画税	4,870,006	4,717,587	152,419	3.2
その他	3,247	4,591	△ 1,344	△ 29.3
合 計	67,771,747	63,619,570	4,152,177	6.5

※市民税(個人)は、年間収入見込が 30,550,938 千円のところ、29,850,938 千円で計上。

(参考) 市税の推移



※2008～2020 年度は決算額、2021 年度は当初予算額。

※2022 年度は骨格的予算による留保分を含めています。

(3) 歳出予算

主な歳出予算	
○ 2022年度は、まちだ未来づくりビジョン2040、町田市5ヵ年計画22-26の初年度であり、まちづくり基本目標に定めた政策の実現を目指すために真に必要な事業の予算を計上しています。	
○ 2022年度は、小・中学校のICT環境のさらなる充実を図るとともに、全員給食を目指す中学校給食センターの整備や、児童・生徒数の減少等に伴う小・中学校の統廃合を進める新たな学校づくりの推進など、町田の未来を担う子どもたちがより良い環境で学ぶことができる機会を創出していきます。また、コロナ禍を契機とした新しい日常に対応するため、デジタル技術の活用による市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目指し、行政のデジタル化を推進します。	
○ このほか、副次核となる鶴川駅周辺の街づくりや、多摩都市モノレール延伸に伴う新駅周辺の街づくりの推進、また、芹ヶ谷公園“芸術の杜”と(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館の一体的な整備の推進など、“なりたいまちの姿”の実現に向けた投資を積極的に行います。	

2022年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

款	2022年度 予 算 額 (構成比)	2021年度 予 算 額 (構成比)	増 減 額 (増減率)	2022年 度 予 算 額 の 財 源 内 訳				
				特 定 財 源				一般財源 (構成比)
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 衛 生 費	12,977,656 (8.2)	26,695,521 (15.4)	△ 13,717,865 (△51.4)	216,793	823,228	218,000	3,066,358	8,653,277 (9.8)
2. 教 育 費	13,051,263 (8.3)	20,466,005 (11.8)	△ 7,414,742 (△36.2)	291,319	737,983	720,000	1,219,953	10,082,008 (11.4)
3. 総 務 費	17,680,806 (11.2)	16,361,210 (9.4)	1,319,596 (8.1)	775,688	1,318,904	624,000	903,532	14,058,682 (15.8)
4. そ の 他	113,655,465 (72.3)	110,319,337 (63.4)	2,244,341 (2.0)	31,043,088	20,607,098	2,111,000	3,918,257	55,976,022 (63.0)
歳 出 合 計	157,365,190 (100.0)	173,842,073 (100.0)	△ 16,476,883 (△9.5)	32,326,888	23,487,213	3,673,000	9,108,100	88,769,989 (100.0)

○ 目的別予算のトピックス

- ・衛生費は、対前年度比137億2千万円、51.4%の減となりました。これは、循環型施設整備事業などの事業費が減少したことによるものです。
- ・教育費は、対前年度比74億1千万円、36.2%の減となりました。これは、小・中学校体育館空調設備設置事業や町田第一中学校改築事業などの事業費が減少したことによるものです。
- ・総務費は、対前年度比13億2千万円、8.1%の増となりました。これは、デジタル化に伴い共通基盤整備運用事業などの事業費が増加したことによるものです。

2022年度 一般会計歳出予算性質別内訳表

(単位:千円・%)

区 分		2022年度		2021年度		比 較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	23,415,569	14.9	23,199,485	13.3	216,084	0.9
	職 員 給 与 費	22,523,492	14.3	22,285,137	12.8	238,355	1.1
	特 別 職 給 与 費 等	892,077	0.6	914,348	0.5	△ 22,271	△ 2.4
	扶 助 費	55,462,319	35.2	53,578,534	30.8	1,883,785	3.5
	公 債 費	7,217,792	4.6	10,678,019	6.1	△ 3,460,227	△ 32.4
	計	86,095,680	54.7	87,456,038	50.3	△ 1,360,358	△ 1.6
投 資 的 経 費		8,418,376	5.3	29,040,111	16.7	△ 20,621,735	△ 71.0
その他の経費	物 件 費	27,595,674	17.5	24,124,253	13.9	3,471,421	14.4
	維 持 補 修 費	874,870	0.6	814,700	0.5	60,170	7.4
	補 助 費 等	15,553,203	9.9	14,841,623	8.5	711,580	4.8
	繰 出 金	17,649,526	11.2	16,737,807	9.6	911,719	5.4
	出 資 金 ・ 貸 付 金	101	0.0	101	0.0	0	0.0
	積 立 金	1,077,760	0.7	677,440	0.4	400,320	59.1
	予 備 費	100,000	0.1	150,000	0.1	△ 50,000	△ 33.3
	計	62,851,134	40.0	57,345,924	33.1	5,505,210	9.6
歳 出 合 計		157,365,190	100.0	173,842,073	100.0	△ 16,476,883	△ 9.5

○ 性質別予算のトピックス

義務的経費

・ 人件費

定年退職者の増加に伴い退職手当が増加したことなどにより、対前年度比 2 億 2 千万円、0.9%の増となりました。

・ 扶助費

生活保護事業や、障がい者サービス給付事業などの事業費が増加したことなどに伴い、対前年度比 18 億 8 千万円、3.5%の増となりました。

・ 公債費

2012 年度の市庁舎建設の際に借り入れた市債の借換え事業費が皆減したことなどに伴い、対前年度比 34 億 6 千万円、32.4%の減となりました。

投資的経費

循環型施設整備事業、小・中学校体育館空調設備設置事業などの事業費が減少したことにより、対前年度比 206 億 2 千万円、71.0%の減となりました。

その他経費

・ 物件費

キャッシュレス決済プレミアムポイント事業や、ごみ収集業務委託事業などの事業費が増加したことにより、対前年度比 34 億 7 千万円、14.4%の増となりました。

・ 繰出金

後期高齢者医療事業会計繰出金、介護保険事業会計繰出金などが増加したことにより、対前年度比 9 億 1 千万円、5.4%の増となりました。

(4) 積立金（基金）・市債

①積立金（基金）の状況

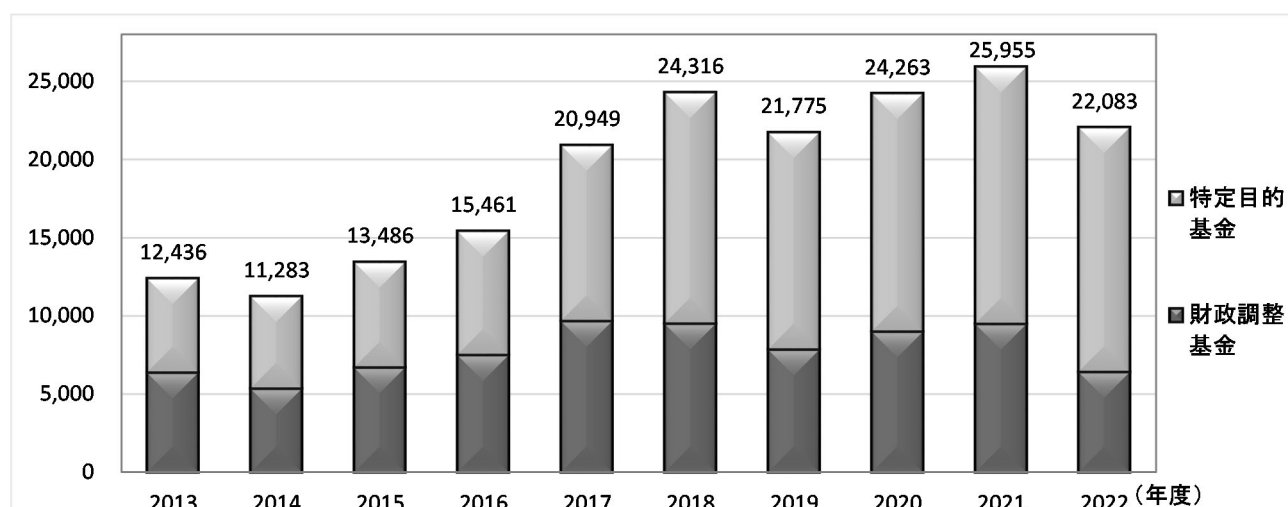
財政調整基金現在高は、2021 年度末時点で 95 億 1,256 万円です。2022 年度当初予算では 30 億 7,890 万円を取り崩し、現時点での 2022 年度末現在高見込額は 64 億 4,075 万円となります。

区 分	2020 年 度 末 現 在 高	2021 年 度 末 現 在 高 見 込 額	2022 年 度 中 増 減 見 込 み		2022 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 積 立 額	当 該 年 度 中 取 崩 ・ 繰 込 額	
	千円	千円	千円	千円	千円
財 政 調 整 基 金	9,016,059	9,512,555	7,103	3,078,904	6,440,754
公 共 施 設 整 備 基 金	6,566,417	6,534,917	39,838	453,514	6,121,241
緑 地 保 全 基 金	1,491,690	1,445,717	1,171	212,441	1,234,447
福 祉 基 金	76,523	76,556	25,059	—	101,615
職 員 退 職 手 当 基 金	1,580,089	2,317,251	—	—	2,317,251
介 護 保 険 給 付 費 金 準 備 基 金	2,518,404	2,977,167	1,991	500,000	2,479,158
廃棄物減量再資源化等推 進 整 備 基 金	2,064,664	1,977,667	609,556	601,452	1,985,771
まちだ未来づくり基金	197,812	359,012	142,447	104,678	396,781
多摩都市モノレール基金	750,180	750,501	250,586	—	1,001,087
まち・ひと・しごと創生基金	1,300	3,300	2,000	—	5,300
合 計	24,263,138	25,954,643	1,079,751	4,950,989	22,083,405

※ 2020 年度末現在高は、出納閉鎖時の（2021 年 5 月 31 日現在）現在高です。

※ 2021 年度末現在高は、3 月補正後時点の現在高です。

■基金の年度末現在高の推移（単位：百万円）



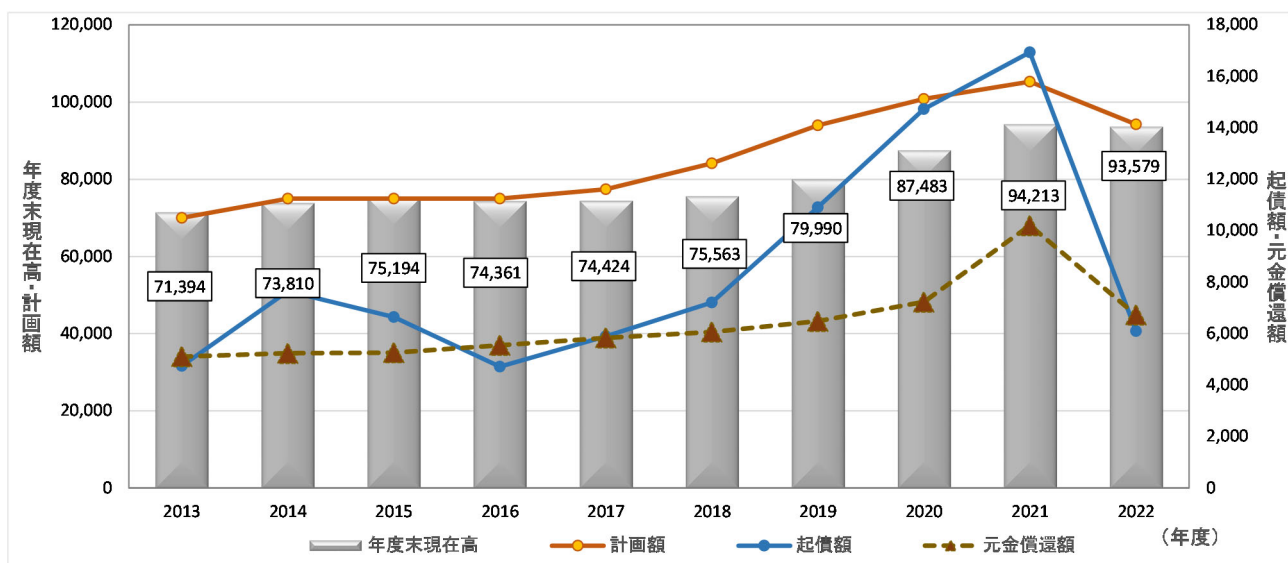
②市債の状況

一般会計の2022年度起債見込額は60億9,800万円となり、2022年度末の市債元金現在高見込額は935億7,925万円になります。

区 分	2020 年 度 末 現 在 高	2021 年 度 末 現 在 高 見 込 額	2022 年 度 中 増 減 見 込 み		2022 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 起 債 見 込 額	当 該 年 度 中 元 金 償 還 見 込 額	
	千円	千円	千円	千円	千円
一 般 会 計	87,482,916	94,213,133	6,098,000	6,731,881	93,579,252
下 水 道 事 業 会 計	43,860,450	43,153,808	3,614,400	3,058,178	43,710,030
病 院 事 業 会 計	9,957,532	10,546,773	639,200	765,540	10,420,433
合 計	141,300,898	147,913,714	10,351,600	10,555,599	147,709,715

※2021年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

■市債（一般会計）の年度末現在高等の推移（単位：百万円）



<参考>

【地方消費税交付金（社会保障財源分）】

2014年4月および2019年10月の地方消費税率の引上げに伴う交付金の増分は、以下の社会保障施策に要する経費の財源としています。

(単位：億円)

	2022 年度 予算額	うち一般財源	
		地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	
社会福祉	645.1	184.1	26.9
社会保険	174.5	152.1	22.2
保健衛生	37.8	31.5	4.6
合計	857.4	367.7	53.7

※地方消費税交付金（社会保障財源分）は、各経費に要する一般財源の比率に応じて活用しています。

3 予算における町田市5ヵ年計画22-26

(1) 町田市5ヵ年計画22-26が始まります

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」は、基本構想部分の「2040なりたい未来」に掲げる“なりたいまちの姿（都市像）”を実現するため、「まちづくり基本目標」を定めています。

「まちづくり基本目標」では、それぞれに生き方の違う人が、人生のどの段階においても輝いていられるよう、また、みんなが「自分ゴト」として受け止められるよう、政策の柱を設けています。

この「まちづくり基本目標」の達成に向けて、2022年度から2026年度の間重点的に取り組む事業（重点事業）を定め、総合的かつ計画的に進めていくため、町田市5ヵ年計画22-26を策定します。

予算編成においては、“なりたいまちの姿”の実現に向け重点事業を着実に推進します。



まちづくり基本目標



町田市5ヵ年計画22-26の主な重点事業

○政策1：赤ちゃんに選ばれるまちになる

地域における子育て支援の充実／送迎保育による多様な保育サービスの推進／病児・病後児保育の充実／保育の質の向上／教育・保育施設の整備

○政策2：未来を生きる力を育み合うまちになる

子どもの参画の推進／子どもクラブの整備／学童保育クラブの整備／えいごのまちだの推進／ICT教育の充実／新たな学校づくりの推進／中学校給食センターの整備／小学校施設の整備／中学校施設の整備

○政策3：自分らしい場所・時間を持てるまちになる

働きやすいまちづくりの推進／シティプロモーションの推進／シティセールスの推進／町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進／里山環境の活用と保全

○政策4：いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

ワタシが主役の図書館づくりの推進／新たな図書館様式の推進／地域スポーツ環境の充実／野津田公園スポーツの森の整備／忠生スポーツ公園の整備／スポーツをする場の環境整備

○政策5：人生の豊かさを実感できるまちになる

地域介護予防活動支援／認知症の人やその家族の居場所づくり／介護人材の確保・育成・定着

○政策6：つながりを力にするまちになる

地域活動団体支援／町田市地域ホッとプランの推進／地球温暖化対策の推進／循環型施設の整備／プラスチックごみの減量の推進

○政策7：ありのまま自分を表現できるまちになる

性の多様性への理解／障がい者差別解消推進／成年後見制度の利用支援／芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館の整備

○政策8：思わず出歩きたくなるまちになる

鶴川駅周辺のまちづくりの推進／相原駅周辺のまちづくりの推進／忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進／木曽山崎地区のまちづくりの推進／町田駅周辺地区のまちづくりの推進／中心市街地の賑わい空間の創出／（仮称）蓮田公園の整備

○政策9：みんなが安心できる強いまちになる

自主防災リーダーの育成／避難行動要支援者の避難支援体制整備／地震対策（雨水管・下水道処理施設）／無電柱化の推進／交通安全ミーティングの推進／道路安全設備の緊急更新

4 2022 年度予算において重点的に取り組む事業

新規 全部もしくは一部が新たに実施する事業

拡充 事業の内容を拡充し行う事業

(1) 町田市 5 ヶ年計画 22-26 における主な取り組み (重点事業)

1 赤ちゃんに選ばれるまちになる

待機児童解消対策事業

3 億 7,729 万円 (28 ページ)

待機児童解消のため、認可保育所 1 園を整備等を実施します。

新規 保育の質向上推進事業

105 万円 (30 ページ)

新たに保育コンシェルジュによる訪問を基本とした相談・助言及び保育士サポートロイヤーによる法的側面からの相談・助言を行います。

2 未来を生きる力を育み合うまちになる

拡充 教育情報化推進事業

4 億 8,522 万円 (31 ページ)

学校の ICT 環境の充実を図り、デジタルコンテンツを活用した個別最適化学習など ICT を活用した効果的な授業を実施します。

子どもクラブ整備事業

1 億 7,539 万円 (32 ページ)

2023 年 7 月の開館に向けて、小山田子どもクラブの建設工事を行います。

えいごのまちだ事業

1 億 7,867 万円 (33 ページ)

町田ならではの英語教育を強力に推進し、町田の未来を支える人材を育成すると同時に、「英語教育で選ばれるまちだ」を実現します。

拡充 中学校給食センター整備事業

2 億 2,329 万円 (34 ページ)

2025 年度までに町田忠生小山地区、南地区及び鶴川地区にそれぞれ給食センターを整備し、「給食センター方式」による中学校全員給食を導入します。

拡充 新たな学校づくり推進事業

1 億 3,204 万円 (36 ページ)

「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づき、「本町田地区」「南成瀬地区」「鶴川東・西地区」の統合新設校 (計 4 校) 及び南第一小学校の新校舎を整備するための基本計画を策定します。

小・中学校増改築事業

2 億 7,920 万円 (38 ページ)

教室が不足する小学校の校舎増築や教室転用工事を行います。また、中学校 5 校にエレベーターを整備するための設計を行います。

新規 キャリア教育推進事業

946 万円 (39 ページ)

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力を育成する「キャリア教育」を小学校段階から実施します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる

新規 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業 3,845 万円 (40 ページ)

町田薬師池公園四季彩の杜の新たな計画策定や南園の用地測量を行います。

シティプロモーション推進事業 3,364 万円 (41 ページ)

市民が愛着を持ち、市外からも人々を惹きつけるまちであり続けるために、シティプロモーションを推進し、まちだの魅力を市内外に発信します。

里山環境整備事業 3,193 万円 (42 ページ)

地域住民や企業・団体等と連携・協働しながら里山環境の活用を推進します。

新商品・新サービス開発支援事業 1,262 万円 (43 ページ)

新商品などの開発事業者を支援し、競争力の強化と付加価値の向上を図ります。

4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

野津田公園スポーツの森整備事業 4 億 1,462 万円 (44 ページ)

2023 年 4 月の供用開始に向けて、テニスコート 4 面の整備工事及び日本陸連第 3 種公認を更新するため、町田 G I O N スタジアムの改修工事を行います。

忠生スポーツ公園整備事業 2 億 4,390 万円 (45 ページ)

2023 年 8 月の開園に向けて、多目的芝生ゾーンやスポーツゾーン等を仕上げる施設整備工事を行います。

スポーツをする場の環境整備事業 2 億 2,170 万円 (46 ページ)

小山上沼公園スポーツ施設 (2023 年 4 月供用開始)、後田グラウンドスポーツ施設を、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。

新規 新たな図書館づくり推進事業 1,156 万円 (47 ページ)

鶴川図書館を市民協働型図書館へと再構築するため、運営団体の立上げを支援します。

5 人生の豊かさを実感できるまちになる

地域介護予防活動支援事業 1 億 1,754 万円 (48 ページ)

高齢者が身近な場所で介護予防活動や、社会参加ができる環境づくりを行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

6 つながりを力にするまちになる

新規 次世代エネルギー等推進事業

645 万円 (49 ページ)

次世代エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガス削減対策として、家庭用燃料電池の設置奨励金を新設します。

循環型施設整備事業

5 億 4,941 万円 (50 ページ)

2022 年 1 月の町田市バイオエネルギーセンターの本稼働に伴い、既存工場棟の解体に着手するとともに、資源ごみ処理施設の整備を進めます。

新規 地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業

350 万円 (52 ページ)

複雑化・複合化する福祉の困りごとを抱えた方を迅速、かつ、より効果的に支援するため、地域における相談支援体制強化に向けた検討を行います。

7 ありのまま自分を表現できるまちになる

成年後見制度利用支援事業

6,716 万円 (53 ページ)

成年後見制度に係る中核機関の運営、市長申立、費用助成等により積極的に制度の利用促進を図り、後見人活動と本人の権利擁護を支援します。

8 思わず出歩きたくなるまちになる

都市計画道路築造事業

12 億 4,013 万円 (54 ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

生活交通バス運行事業

9,833 万円 (59 ページ)

地域コミュニティバス等の運行や、バス事業者と連携したバス待ち環境の改善に取り組みます。また、移動支援や自動運転等の新技術活用を推進します。

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業

4 億 9,402 万円 (60 ページ)

「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するために、芹ヶ谷公園“芸術の杜”と、(仮称) 国際工芸美術館、国際版画美術館の一体的な整備を進めます。

多摩都市モノレール延伸事業

4 億 8,404 万円 (62 ページ)

町田駅周辺・木曽山崎団地・忠生北部エリアのあり方等の検討を行います。また、東京都と協働で都市計画道路の物件調査や用地購入等を行います。

鶴川駅周辺街づくり事業

6 億 8,658 万円 (64 ページ)

北口交通広場の整備工事を行い、南口アクセス路の用地測量を行います。また、鶴川駅南土地地区画整理事業では、用地取得等を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

相原駅周辺街づくり事業 **3 億 1,701 万円** (66 ページ)

東口駅前広場の用地測量を行い、駅東口へのアクセス路の整備を進めます。

小田急多摩線延伸促進事業 **1,015 万円** (67 ページ)

延伸の早期実現を目指して、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施します。

中心市街地活性化推進事業 **3,802 万円** (68 ページ)

原町田大通りに整備するパークレットのデザイン設計を行います。また、原町田大通りの歩道拡幅の設計、憩いの空間創出や社会実験を実施します。

中心市街地整備事業 **342 万円** (69 ページ)

ガイドラインに基づき、試行的に運用開始し、持続可能な運用体制を構築します。

(仮称) 蓮田公園整備事業 **4 億 4,333 万円** (70 ページ)

蓮田緑地の用地取得及び蓮田部分の植生管理、畑地部分の草刈等を行います。

9 みんなが安心できる強いまちになる

無電柱化推進事業 **1 億 7,425 万円** (71 ページ)

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、原町田中央通り、町田 623 号線、文学館通りの無電柱化を進めます。

新規 **避難行動要支援者避難支援体制整備事業** **500 万円** (72 ページ)

避難行動要支援者の個別避難計画作成に向けて、新たな避難支援体制を構築します。

(2) その他の取り組み（経営改革プラン、公共施設維持保全事業など）

道路アセットマネジメント事業 **4,142 万円** (73 ページ)

道路施設の計画的な維持管理を行うため、トンネル・横断歩道橋、街路樹の管理計画策定と橋梁、ペDESTリアンデッキの管理計画改定を行います。

拡充 **デジタル化推進事業** **7 億 4,736 万円** (74 ページ)

市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目的に、行政手続のオンライン化や国が定める標準仕様に基づくシステムへの移行等を進めます。

公共施設等マネジメント事業 **5,925 万円** (76 ページ)

公共施設再編計画に基づき、町田駅周辺公共施設の再編プロジェクトや、その他公共施設の再編に向けた取り組みを推進します。

公共施設等維持保全事業 **18 億 1,822 万円** (78 ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

新規	共創プラットフォーム推進事業	1,253 万円 (80 ページ)
	多様なつながりで地域課題を解決していく「まちだをつなげる 30 人」を実施するとともに、回覧等の地域情報のデジタル化を実施します。	
	ひかり療育園施設管理・運営形態移行事業	9,450 万円 (81 ページ)
	2022 年度から事業へ民間活力を導入し、運営体制を移行するにあたって、移行前のサービス水準を維持するための取組を行います。	
新規	学校教材費等公会計事業	3,520 万円 (82 ページ)
	2023 年 4 月からの小・中学校の教材費等学校徴収金の「公会計化」に向けた準備を進めます。	
拡充	がん予防対策推進事業	3 億 1,455 万円 (83 ページ)
	胃がんリスク検診や、大腸・乳・子宮頸の各がん検診に加え、新たにがん死亡数が最多である肺がんの早期発見に向け、肺がん検診を再開します。	
	キャッシュレス決済プレミアムポイント事業【第 3 弾】	7 億 534 万円 (84 ページ)
	キャッシュレス決済の促進と市内経済の活性化を図るため、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業の第 3 弾を実施します。	
新規	中小企業者支援事業（新型コロナウイルス感染症対策）	1,400 万円 (85 ページ)
	デジタル化に係る経費の補助や、感染症対応に係る BCP（事業継続計画）関連費用を補助します。	
新規	中心市街地空き店舗等利用促進事業	2,500 万円 (86 ページ)
	町田駅周辺の中心市街地の空き店舗等に出店する事業者に対し、賃借料及び改装費等を補助します。	
新規	若者創業スクール事業	1,500 万円 (87 ページ)
	持続的な地域経済の発展を目指し、次の時代を担う高校生や大学生など若者を対象として、多種多様なビジネスチャンスをつかめる人材を育成します。	
新規	文化芸術活性化推進事業	1,000 万円 (88 ページ)
	町田市および近隣地域で活動する実演家や、文化芸術団体等の活動機会の創出を支援します。	
新規	新たな歴史の学び推進事業	990 万円 (89 ページ)
	動画配信や非接触型展示環境を整備することにより、コロナ禍での新たな町田の歴史の学びを推進します。	

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。